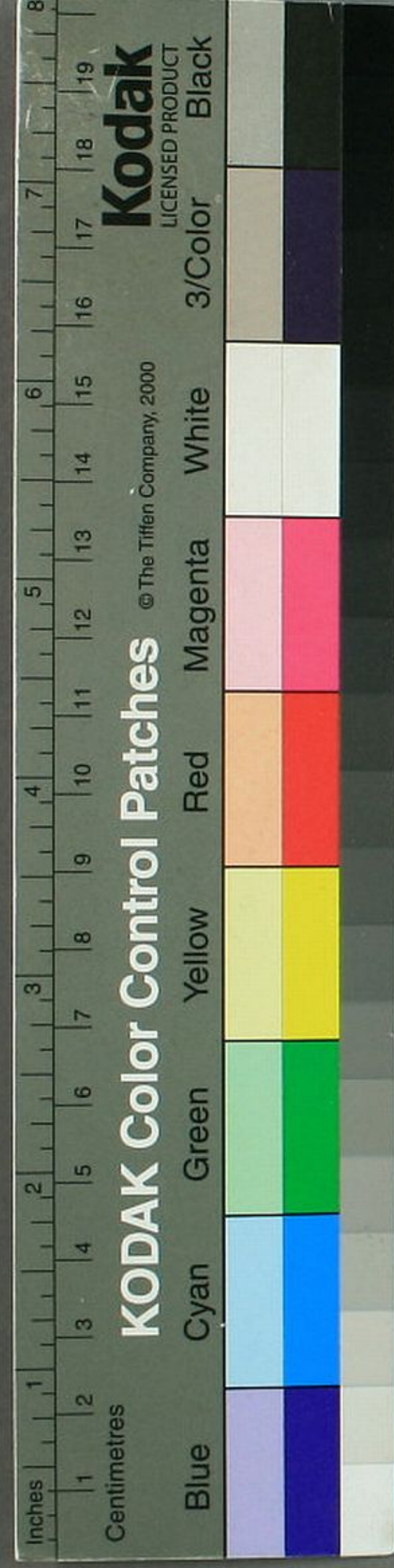




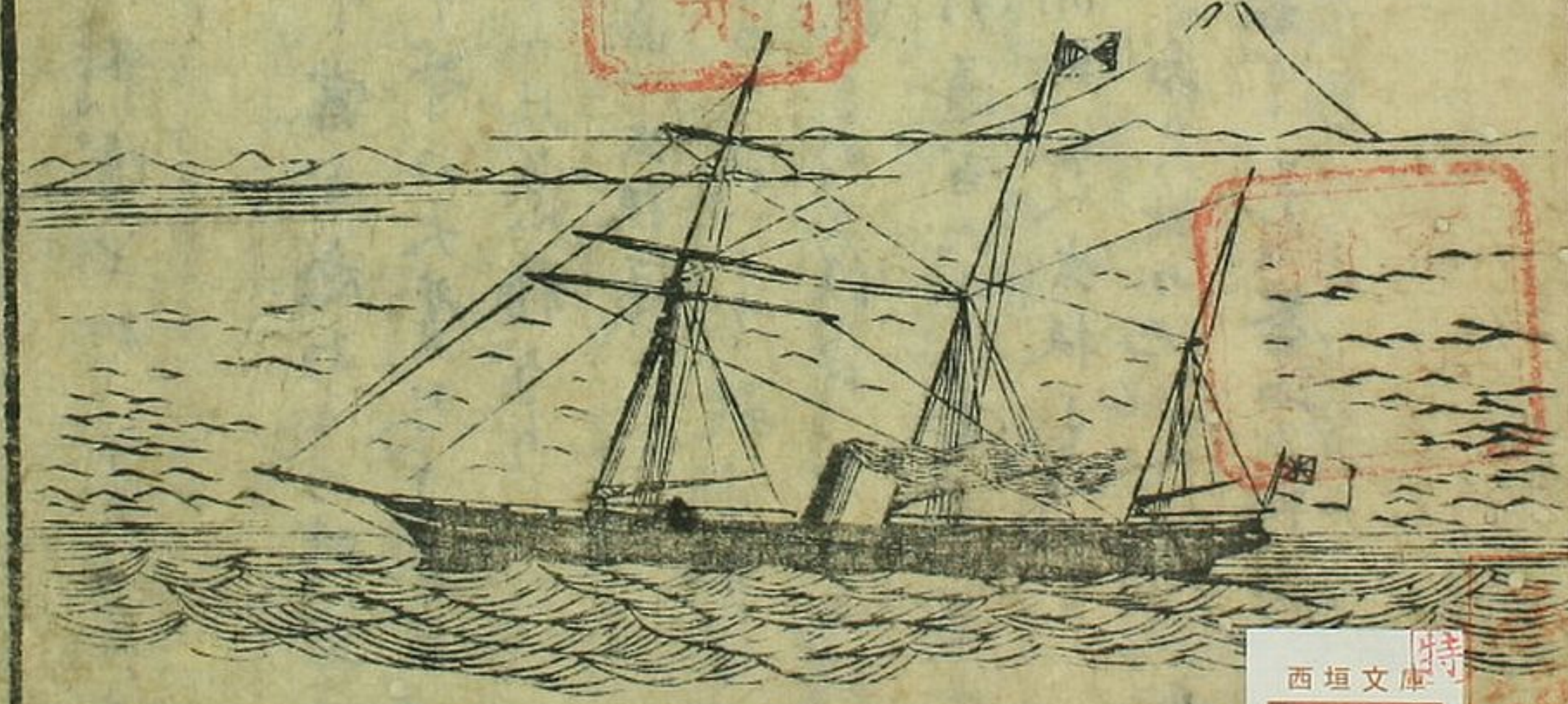
橫濱出版板

萬國新聞紙

每得新報發

慶應三年六月中旬

英國教師ベリー編



第五集

千八百六十七年

西垣文庫

文庫10

7368

2



凡例

此の萬國新聞紙ハ日本の諸君ニ萬國の事情^{フツタツ}ヲ知^ラスルヲ爲^スル作^ス也

○日本の日々ニ強大ニ開け進むる速ニ一て當今志あるの諸君の萬國ニ
遊歴學問するに自由なる所ハ實に予等の大變りなり今の時ニあて
諸君萬國の事情に通達するに欠つゝこゝに急務なり

○每月二三度飛脚船新聞と持来_ル直ニ出板_ス

○此新聞紙ハ諸人の報告を集めて作さるり信ぜざる疑ひありて
實虚分明ならずなりといふも予等説き明く候なりあらずば

○諸君茲一玆說奇談と聞か横濱本村通百六十八番或ハ本町通五十番ニテ告けらるべ一然れを互ニ此新聞紙ニ加へ出版せよべ一

○卷の終ニ横濱新聞といつかれと出ゝある此の地よりぞ新聞
して文中ニ問と設くるとあり諸君若し是ニ答ふべしハ百一番拙
宅にて投却せらるべし

大英國史

第二編

英國羅馬ノ奪ビ取ラル天主敎英國ノ來ル紀元前五十五年

紀元三百九十年より
日本 崇神天皇四十二年より
仁徳天皇三十八年まで

此時に當て世界の強國ハ羅馬なり羅馬歐羅巴の西方及び中部の各土人民を奪ひ取らる紀元前五十五年羅馬の總大將の一人ある名ハジュリウス・セーザルなるもの英國に攻来る然れども事を遂げざりて紀元四
十三年實に英國を奪ふんと企てしむるに近寄らざるに四十二年
セーザルの後殆どの戦ふは強戦を以て厳しく艱難となり是英人自國と
愛するの心深くして戦を強えたるに因り然れども羅馬人の豪
勇ありて且英人よりハ利鈍なる軍装を備へ然のころぞ甚熟練し
て大將の命に馴れ従へば烏合の土寇を破るゝ如く英國の間を轉
戦して行くなり時ハ羅馬人島の南部と切里従へ逐ふ北部を進
取る北部は即スコットランドといひて羅馬人を是とを「カレドニア」と名づ
く羅馬人此の地より大なる功も遂げりハ山中に住する人種を追
逐せしむるなり且國中荒草の野地或ハ岩石泥沢の多しハ食料住

居の処を得ざる。○羅馬人大に英國を開拓し、沼沢を決流し、雜木
を斬り倒し、國中に樹園田地を開き、美宅寺殿を建て、市街防禦
の爲め、小巖重なる外郭と築けり。コリント^{地名}の内のドーウル^{地名}及びロント
コルク^{地名}、コレチエストル^{地名}、リッコン^{地名}、其外の港ハ羅馬の頃、小ハ甚だ要用の場所な
り。又今のセイントラルバンズ^{地名}、小近き地、上古義麗なる市街あり。亦、^{地名}
地の近地、小あり。此地、小大なる道路あり。往來、羅馬人、此の土功、英
人と驅役し、徐々、小自らの好む、好宅を建て、地を耕し、野菜葡萄
林、橘の田園を作り、其他、野生の橡栗、野李、果實を以て補ふ。英人
の児童、小羅馬児童の如く、住居衣服せしめ、且、小學校へ行なり。其
他、數百人の者と、兵卒、小仕立て、羅馬帝の爲め、小遠方の國に戦争
小趣たり。爰、一善事の他より、充たるる羅馬の奪取、小逢なら
し。因、彼の造化主真神の教の英國に來り、なつたり。此頃、^{地名}
英人ハ、ヘデ^{地名}に宗あり。此の喜ばしき教、忽時、羅馬の奪ひたる國に廣ま
り。英國、初、此の教を嚴しく禁錮せり。紀元三百四年、^{地名}
及、び他の英人、某等、自ら命を抛て、此の教黨一致、去れども、其後、奉
ず。許され、是より英國の寺院、大に繁盛とあり。けり。

砲術第二編

三集、小銃清潔等の法を出せ。故、今放發の術を興ふ。爰、放
發する彈丸を、忽ち地上に墜し、ひる。全く空氣に抗
抵の力あると、地球は吸引の力あり。因、夫れ空氣は彈力ある
ゆゑ、一々行きて過る事の遲速、小從つて抗抵力も亦、同く、^{地名}
此理を知らん。ふ、甚だ易し。今蠟燭、小火を點し、静之を動
け。其焰、動揺する事、火より急之を動を、動揺する事
甚だ。此を以て考ふ。抗抵力ハ、觸るる強きと、其力益々強
き。分明なり。彈丸の飛行する、迅速なる故、空氣の抗抵力も亦
強くなり。彈丸の劇しく、勢も漸々減る。勢を失ふ。地上
の引力、勝つ。故、地、小近づき、近つけハ、引力愈大なる故、墜つる。
一愈速なり。試み、石を以て、寛や、投ぐ。近き、小墜つ。齋
しく、前の高き、小向て投ぐる。力を極む時、幾多の隔たり、
達、其理、何是れ、勢の劇しく、故、地の引力も速に墜し、む。
能ハ、さる。因る故、小若し、迅速の勢を失せざる。のち、地、小墜つ。
一ハ、あつ。ざる。又度、小因り、彈丸の遠近距離、小達する事を説

くべー石を取る地上より六尺の高さに向て投てぎを行く事僅なり若し二倍の高さに向て投てぎバ幾倍の速さ小達其速さより速なるの度ハ四十五度を極めて其より多くの度を増やぐ高さに到るも遠さ及バ故小銃上小照星を設くるハ實小緊要なる一用也蓋し眼は近きハちり幾度あてもおたんと欲する度を定めし後ハ銃口を高く筒先の照星をバックサイト上の孔は當るる此の狙の付方又三等あり一をフルサイト二をハーフサイト三をファイナサイトをいふフルサイトハバックサイト先ニ孔中より銃口照星の臺の全身を見る然れども若し弾薬の力軟弱なる或る尚度を高くせんを欲せし銃口を上るるを要すハーフサイトハ弾薬の力も強く銃も亦精良ふいてバックサイトの精密の度を用ゆる時用ハファイナサイトハバックサイトの孔中より銃口照星の尖頭を見る是れ近き距離用ゆるなり

フルサイト度の高低多少小係りどヤルど五十より百までの間小用ハ百五十ヤルより二百ヤルまであり二百五十ヤルより三百までありハーフサイト狙の丁度ある時小用ハ五十より百より百五十より

ファイナサイト度の高低多少小係りどヤルど五十以下の時小用ハフルサイトと月道理なり

近頃ヨウロッパより持来し五月廿七日日本四月十四日日本五月の傳信機の音信左の如し

英吉利國 イギリス

「アイルランド」名地於て数多の一揆の囚人小死罪を命ぜり然とも一般小考ふる此事件行もゆるがれ我等近來の傳信機の音信あて知りたし此囚人を刑罰小行もぐりて生涯の間入牢せりたたり此愚あるとのふ斯の如き慈悲とふせハ英國政府の處置宜きと得たり若し此囚人心を改め善小歸りあて「アイルランド」名の十九年前小擡動あり一時の如く十年又八十五年も過ぎあて赦免あるゆるを疑ふ

女王の第二子「エーディンブルグ」^{地名}の大名「アルフレッド」^{人名}ハ世界を一周せんが爲
ム本國と交戦せり我英國女王の子なれハ何處の地不到るとも其國人
ハ饗應せざるべし

支那在留英國大商人「デント」^{人名}社中處々より恐るる高の借債ある
ヲ因テ「ロンドン」及び支那にて實ハ驚駭せり又「ロンドン」新聞を見ら
此社中拂ひ償ふに能はざる金の八分の一の拂ふべしと言々
たり且此突ふに些少の金を拂ふに二年半の間を願ふたり

英國ハ於て新聞紙を出版せし一千九百四處より少くハ日本ハ
てハ唯一の自國の語の用ひ英國ハ於て二百年前ハ唯四五國
の語を用ひたり日本ハ於ても斯の如く行をれんと願ふ

外國「ミニストル」「スタンリー」^{人名}歐羅巴の諸大國ハ軍勢を減少
の大改革を説き出せり此事ハ諸國ハ大利益あるべし然れども
此事ハ不同意を生ぜんを恐るるあり

大西洋の海底ハ施シ傳信機二線あり一線亞米利加海濱
接したる一ツの氷山ハ害せられ傷まふ止むべし幸ふ其一ハ尚働
ふべし此害せられたる機線の容易ハ修復せしむるに希望

あり

佛蘭西國 フランス

政府の軍勢増加して八十萬人に至り

當時「パリ」に居る諸國人ハ大幸福といふべし貴尊なる賓客ハ

日本大君の尊弟「ロシア」帝「ラストリア」帝「ロシア」王「ラングベル

ジアム」王「ホルトガル」王「スペイン」王及「トルコ」帝「ペルシア」王等なり英國の

太子及び其外數人の王族ハ亦當時「パリ」に在り以上の貴賓の爲なり

「パリ」中ハ在る英國の使節館に於て大なる歌舞を催せり

日本大君の尊弟大ハ心を用ひて見物せられ其容體泰然として

自らの家ハ在るが如し

オーストリア國

北「ジェルマニー」國

「ロシア」國

「プロシア」王「ユクスセムブルグ」^{地名}の條約と睨と取極めたり

「プロシア」ハ於て去年大戦争の時敵せし他の「ジェルマニー」諸國ハ大凡

四千萬ドルの用金を命じたり

魯西亞國 ロシア

傳信機の音信にて次の事件を知りたり歎息堪へざるの「ポーランド」

地名「パリ」ス於て佛帝と同車セリ魯西亜帝ハ鉄砲を打掛けたり
幸ハ短銃破裂セリハ因テ両帝とも疵をも受ヅル通リト心得
たり

傳信線を亞細亞州中魯西亜領を通シテ長崎及び上海ハ連接ス
一といハ此説確定スルコト

イタリヤ國

イタリヤ國中ハ羅馬領有テハ莫大の寄附金を言ひ付られた
此國今年の收納高ハ不逞セリ是ハ因テ國王ハ自分の雜用を省略
セリ

羅馬法王極めて衰老セリ我等考ふるハ此法王の死ハ其領分を「イ
タリヤ」國王ハ附屬せん」と云ふの前途ハ然る時ハ羅馬ハ「イタリヤ」
の首府とふる處と疑ふ

トルコ國

此國の領カンデア嶋の一揆を防グ為ニ「フランス」ハ數大國評議
會ト云ひセリ

エジプト國

今年此地旱魃米價大ハ沸騰北京の貧民餓へたる者多シ京都五
城地五ヶ所ハ於テ救ヒ小屋を設けたり三月より五月下旬まで貧
民ハ此小屋ハ聚めて救ひたりといふ

四月中香港廣東連日大雨且雷鳴烈シク既ハ廣東市中ハ
水湛溺死人数多シ五月ハ至リ晴天のハ炎熱燒くが如ク
前月冷氣ハ僅ク一月を経テ格外炎熱スルハ當時香港
病人甚多シ

香港於テ支那文字の新聞紙一七日の間ハ三度板行其度毎ハ
一枚といハ新聞紙の家ニヶ所あり一ヶ月ハつゞけて凡一萬二千
枚上海香港於テ毎月二萬四千枚なり日本ハても斯の如ク盛ハ
行ハ人々を希ハ新聞紙を見る時ハ他邦の奇事を聞キ又他
邦ハある朋友の安否も知ルを得る前ハハ輕業師の事など
ハ其親類或ハ朋友等之ハ讀ムハ必喜ム

横濱新聞

「オウットフィール」ハ此頃蒸氣小船を製シ已ハ船ありハセリ
其名を「ボタル」といハ必定此港の荷物を運送スル為ハ甚タ要

用ある際

西洋第七月二十日日本六月十九日太平洋飛脚船社中ノ属する蒸氣船「コス
トリカ」「ニューヨルク」より横濱へ到着せり此船ハ横濱長崎上海の間
「コロラド」の如く往復する船なりコロラドハ大抵日本六月二十二日
或ハ二十四日頃ハ着るなり

英國「アドミラル」「ケッペル」人といへる名高き豪勇なる人「サラミス」
名乗る「ミニストル」と共ニ日本の環海を廻るなり

佛人「カシヨン」なるもの「パリス」へ行きたるなり日本大君の尊貴ニ
随後日本語通辨役を勤め居るなり「カシヨン」甚懇切の容子ニ
れども彼ハ日本ニ得たる多くの恩澤を忘却せり夫ハ日本
政府の事ニ付て甚た笑ふゆゑ箇條を佛國新聞紙中ニ記載
せり「カシヨン」なるものハ世人の能く知りたる如く日本ニ在り
時ハ日本政府ニ拘りたる「ジャッパン・ヘラルド」といふ新聞紙の頭取
なり其時ハ將軍ハ日本の實の國君なりと記載せり方今
ハ反對したる事を言ひ出せり尚頑固なり愚なる
言へり各々の大名ハ大將なり大將ハ大君即ち將軍なり

當時香港に居る日本人「谷口」其主郎の次の手紙を得たり

亞墨利加「ニョールク」の内「ロング・アイランド」島の名を以て日本

此島に牢屋あり罪人を人別ニ一部を部屋の内ニ森羅枕蒲團輕き罪人を白

地に印し一月に衣服と着せり日本に在る田舎皆是の人なり其罪乃

輕重小なり年限長短あり牢屋中七日目毎ニ掃除を白壁塗るへ

て清潔なり禮拜日毎ニ各休息をトイモリヤニシテモトコナシ獨ニ扶助する處

あり鰥獨りあり人夫ありトイモリヤニシテモトコナシ銘々の元此職なり其勤なり

寡るなり此島中仕着る衣服洗濯縫ひの事洗濯する事

皆蒸氣の器械に仕事甚速なり乳あり女ハ孤小兒の養育を

つらむ小兒の遺物品皆備なり男子五六歳より學問所

小行又軍隊訓練を學ぶ女子五六歳より學問及縫紉は機械織

成教中育目トイモリヤニシテモトコナシ乃教習教師なり成就の後又通仕儀自在なり

其教方甚奇なり又病院あり病症より部屋に別つ名醫或

擇んく是を療治する官數人あり取締トイモリヤニシテモトコナシ如此乃政事故道

路を見苦き貧者トイモリヤニシテモトコナシ食更ふトイモリヤニシテモトコナシ實小仁政なり歐羅巴

洲中是より同ト

香港

大なる牢屋あり支那罪人尤多一皆衣服を削り二人毎不足
鍵を付する自在なる人外は事々々是を毎日人夫を
道路の普請は罪人の役なり罪の輕重に因て年限長短
り政府の道普請家作乃人夫より石垣と積り残りの石
細く碎き道路の下に入れ其上へ土を載せ大石を以て
固む何如
り大なる水に往來する事々々是皆英の政府より
司するなり如此は支那人身体壯健罪を免るなり後直り各
職分を差支る一病人より一牢屋中尤清涼廣大なり既
二月月中

大君の賢弟も此牢屋中残り御覽あり一香港
英乃政事ゆへに食ふ一廣東ハ支那第一の盛地といふも
香港より遠く及る道甚狭く大雨の時ハ水湛ひ往來する能
く道路は盡く石を敷き少感するなり既四月月中廣東城中
大雨に洪水一老人子供洪水に溺れ死すものあり

ペーリー先生の新聞紙を見る諸人の行跡褒貶甚厳なり

と期く倭奸変説の人と此の如き高位あり日本大君の尊分の
側侍よりむく解する処ありカシヨンの言い一事を盡く
書き記しむる尚極めて愚かるといふも看者の煩き一紙厭
ひ是を忌む

亞國ヘッボンの英和對譯辭書成就せり簡便確實なり且鮮明
なり英學志ある諸君ハ座右に置かうハあらず然れども
多分ありぬれハ速に買ふなり及るなり横濱三十八番
みり賣りせり

東木の警喻

昔一人の父あり病臥して將に死せんとき喪子枕を環り
て遺言を聞く其父曰吾一物あり汝等とを試みよ遂に木
條一束を擲ち折るむ喪子命の如く折るに折る断つ能く
父誨て曰汝且つ條を逐て抽き出さ次第に分折られハ能く
断つや否や是に於て手は随て折るなり父曰我死する
の後汝等分れ離るるなり合ふ時ハ人の欺を受け分るる
折断易し此木を以て証とす俗語云唇と齒と互に

相依り連ふもハ萬ハ一失カシテ若シ之を分てハ唇亡ひて齒寒シ
ト之を慎め一國と以て論ぜられハ各ハ一方ハ據るものハ敗れ叛カ
ヤハ鮮カシ力と合セ相連カスの義ハ如クヤハナリ
當時碇泊の船ハ四十三艘内軍艦英六佛三魯一艘ナリ

物價相場

此頃「ヨウロッパ」の音信ハ天氣惡シク絹の出来宜シカ
直段大上まりとアリ故ハ少シク商賣アリ然ルモ十八日
傳信機の便ハてハ多シク直段再ハ下れりといハ支那産ハ
昨年よりハ多シクナリ○茶ハ景氣宜シカラズ
新出来の絹ハ下直カ人奇麗ハて出来の宜シキと望ミナリ
外國人甚ハ高く買いたるを歎クハ「ロンドン」ハ絹澤山ナレハ直
段「下」ハ賣買少カ人と思フ故ナリ
種紙多く横濱ハ来れり外國人直段の高キハ恐ルモ随分買ハ
入ルナリ

交易物の積込ハ多ク其品物ハ緋金巾木綿糸アリ
玄米ハ安シ故ハ多く来ルハ海

ハワイ嶋 即チインドウ島

ハワイ嶋ハ日本と「アメリカ」の間太平洋の中程ナリ嶋ハツアリ
皆一王ハ屬ス嶋の廣ハ總テ一千七十里人民ハ萬人其中六千人ハ
他國より来リ住スものといハ當時の王「カメハメハ」ハ身体長大ハ
一王相を備ヘタル人ナリ自テ外國を偏歴シテ多くの益を得テ
歸リ老中奉行ハ自國の人を用イテ盡ク英佛亞人を用カ各カ
を盡シテ其國を開キ富マセントモ世界中の名アル國と條約を取り
結ビ交易甚ハ盛ナリ相傳ハ上古渾沌未タ開ケザル時大鳥アリテ
卵を大海上ハ産スル破れて此嶋を成セトといハ此嶋太平洋の群小
嶋中ハて最も著シキものナリ「アジア」の東邊「アメリカ」の西邊ハ往復ス
ル商船の海程ハ當テ殊ハ「アメリカ」の「カリフォルニア」ハ近來頻リハ人民福
湊繁殖スル故ハ商船の往復ハ尤多シ因テ又許多の利益を得ルナリ「カ
リフォルニア」の南方より隔離スルモ七百二十里南「アメリカ」メー
「ランド」の西南より遠カラ大凡二千支那東方の海程ハ亦同ナリ又地
圖を檢スルハ日本と「バタマ」の地峽との中間ナリ實ハ此嶋の地位
天然勝區ハ屹立ス故ハ中央の貿易場ナリテ諸船東西往復の要

用ふる地と云ふ人此八嶋百六十里間小圓曲小點々羅列す○此嶋の人
民ハ其の初々小船を以て遠國より難風ふて漂流しあふものなり
昔時日本船の屢々難風ふ逢ひ漂流せる事ある疑なく此嶋の居民
日本の人種なり人容貌言音とも多く日本小似たり然れども其是
るかや否ハ詳ならず貴きとのハ身体長大なりて六尺の上小過ぎ容貌野
鄙なり力甚強一賤きとのハ多くハ身体短小なり一嶋あり周圍一
里小過ぎ各國より隔離する大凡五百里余此嶋の人種も亦其初
と漂流せる者なりハワイ王小一のウオルクロックと名つくる戦争
小用ゆる所の衣あり奇鳥の羽を以て製する其羽甚た光彩あり羽
の長サ一寸此衣長サ四尺裾の廣かり一丈二尺其製巧妙なりて外面
平滑なり家寶として已小九代を経たり其價ヨウロッパ中の諸
國王の家寶小齊しといふ諸嶋中最大なるものとハワイと名づく群
嶋東南の極小あり方七百五十里今此名を以て群嶋小命をハワイ
嶋中二箇の噴火山あり一とマウナロア高直徑三
百七十六丈一とマウナキア高
一千三百
九十五丈といふ又「キロイ」と名つくる火山あり噴上小火湖あり如「モイ
嶋中」小ありとのハ高サ千〇七十丈他の嶋小も同一高サの火山あり西

岸より望み看むハ全く火融の石漿より成る凹凹里色なる岩石なり
絶て草木を生ぜず山裔ハ漸々流るが如く海中小入る諸嶋の西方
ハ雨の降ること稀なり又ハワイ嶋の西岸小ハ四十里余の間絶て
入江なく流水なく東方小ハ兩屢ふりて且瀑布の断岸を飛下
る其景光奇絶といふ此嶋ハ氣候の俄頃り変化する事
なく寒暖計十年以來七十五度より十九度まで小過ぎる寒國よ
り来りて住むるものハ皆命を長ふ本國小て多病なるも此小住まれ
ハ病せず實小世界中の仙國なり爰小此國の産物年小二回の收
納あり小麦ハ野小生る且極佳の砂糖を産する其香日本の産る
同諸嶋小生る甘蔗サトウキビ高サ二丈五尺より三丈五尺小至る其圓竹の如
く去年産せし所の砂糖十三萬三千一百斤多くハ亞國小送りて多利
を得なりといふ嶋の頭著ある港ハ「ホノルル」といふ「マア」嶋小あり貿易
甚た盛なり他國より来りて此所小居滿するもの六百人又「モイ」嶋小
ラセナ」といふ盛港あり去年入港せし船ハ此國小属する商船二十六
艘鯨船三艘亞國の商船七十二艘鯨船八十九艘あり其他幾多の外國
商船入港せり輸出入の産物ハ砂糖羊毛鯨油米綿蜜柑糖蜜あり

珈琲塩石炭牛肉獸皮獸脂山羊皮馬鈴芋果實等も少くなく今
 衆國をカリフォルニア支那チリ英并英属の諸國或ハ佛より種
 の産物を輸入し此嶋ハ獨立國として王位ハ血統を以て継ぎ政事ハ
 定津かり英小似て二院あり上院ハ貴人より下院ハ衆人中より撰
 ぶ此國の開化も速た速かる故ハ尙僅々小残りある生番風臭と
 久しうして盡く改む人此國ハ詩あり此國の土人ハ文字を知らず
 と思ひし此詩も亦一つの學問なり是を學ぶ人ハ數年を経ぬ
 詩中ハ絶妙のものとあり造言ハ國初ハ史事ハ交ゆるとのあり
 政府より丁寧小蔵一人ハ命じて守らし此嶋ハ新聞紙あり土人
 の語を以て字板を三處より發し且教化を盛ハ諸嶋盡く學校あ
 り土人の子を命じて學校ハ入るハ費ハ政府より出さすといふ王族
 及び王官の者ハ多く耶穌教を奉ぐ其教の書ハ已翻譯せり王の諸
 小因て英國より高貴の僧ハ幾多の僧を添て送りたり當王の母「エマ」
 嘗て英國ハ之きく大ハ饗應を受たり英國ハ在留中本國ハ大寺院建
 立を企て亞國を経て歸より此旅行ハ國民の大利ある物ハ近頃日
 本と條約を結ぶる忽ハ交易繁盛ハ兩國の大利を生ずハ必定あり

報告

ロ中一切療治仕々

横濱百八番

ウ井ン

私店ハ外國の衣服書物筆紙

「アメリカ」學問修業交易又見

墨の類その他色く品物何れあり

物遊展渡海新米度者も随分

商賣はる何れ先來も及ぶ程

此世話アリ

横濱百八番

ピールソン

横濱九十三番 空ニリード

私店ハ羅紗外國人衣類皆皮ハ靴ライフル砲并ピストル等

品ハ商賣はる用ハ方概ハ以來駕ハ輕便も多ク之を

以右又ハ不持合ハ多ク之を早速本國より取寄テ送ル

此証文アリ

横濱本町通七十七番

マークス

ハルトリー

橫濱百八番

白
 王
 如
 儿

橫濱

六十九

ヲ
ハ
一
ル
ド

十

ペンシスラル
エンドリ
ンタル
ステイム
子ウイ
ゲーシ
ュニ
社中出張

橫濱海岸十五番

ダウイソ^ン

横濱本町通五十七番

フレツチユル



橫濱海岸通五番

ス
メ
ス

濱二番

ウオル
ホル

夏物又黒羅紗衣服類一組お揃へ白襯衣フレンチ子ル襯衣下股引
襟鼻拭手袋足袋皆長皆兩衣秋鞭馬具も額到着仕付るは水程
偏る程額小猶又此江文は成りつゝ急服希取寄り差上り申度且衣服仕立
仕付る用仕付可きト以上

横濱本町通五十二番

ロスモンド ウイルマン

私像埃度太田町八丁目百七十五番ニ轉宅仕付

私店金銀時斗螺旋銃短銃並火藥玉電氣箱度量器器械樂器
商賣仕付る市買求し程奉希ふ其外種々武器は注文に依り本國に
取寄差上り申し且亦時計飾玉し直仕付間迄未駕奉願上り

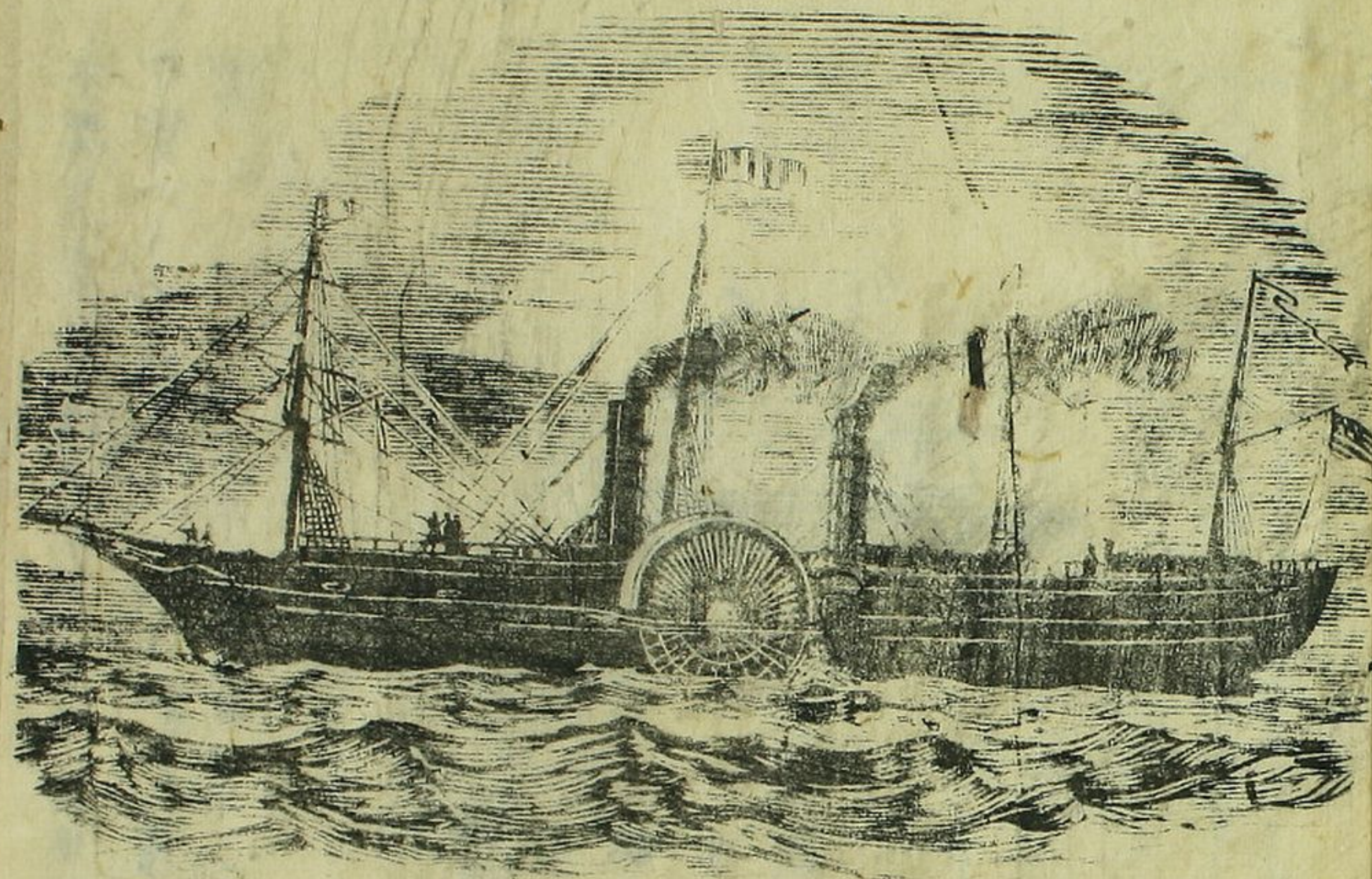
横濱

時計師
フーゲルブランド

私店癩病及ヒ瘡毒の妙藥「サルサバル」根の「エキストラクト」并癩癬
の奇藥仕付る市買求奉願上り

横濱本町通五十一番

ハルトリー



亞国飛脚船「ヨラド」號七月十五日横濱來り直
香港趣き八月十日又横濱來り一日逗留して
「サラシス」に向く出帆す

香港より上等客百五十ドル中等客百ドル支那中
等客六十ドル下等客五十ドル日本下等客二十ドル

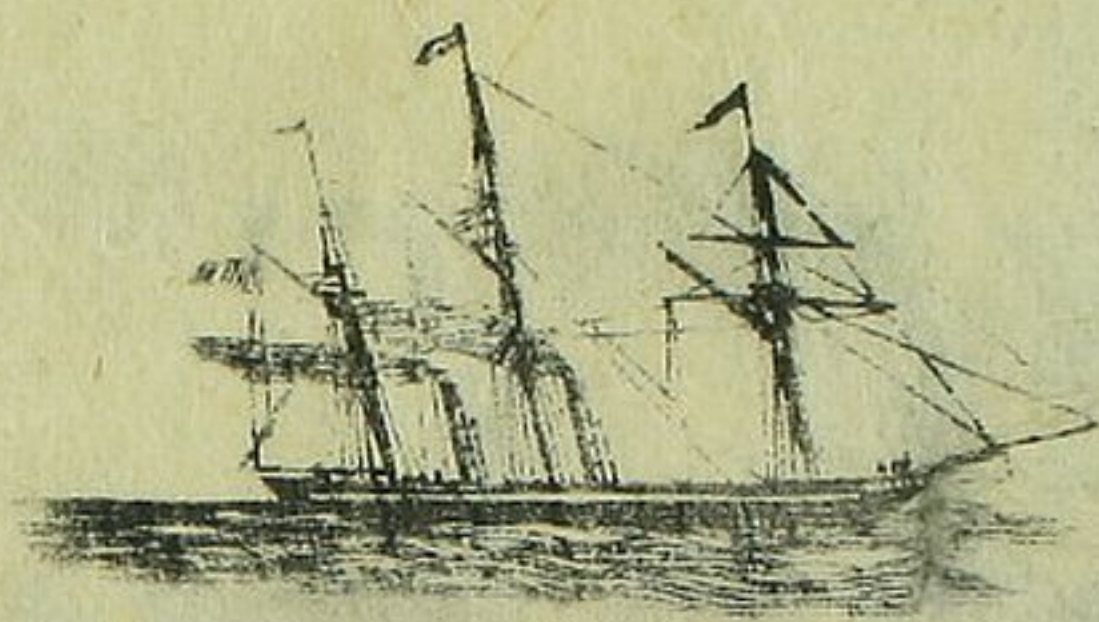
横濱より「サフランシス」港より上等客二
百五十ドル中等客百七十ドル支那中等
客百ドル外國下等客五十ドル日本下等客五十ドル
「ニール」より上等客四百三十五ドル中等客
二百八十五ドル下等客百五十五ドル

外附属の荷物上等客の重二百五十ポンド
中等客の重百ポンドに載る事を許す船中
食料水被褥は入用の諸物お右價の中は但し
酒別料を出して得此飛脚船は海外諸國に遊
観する時其船大く且堅固なる故に風雨の
患は甚少なり又毎日船中を掃除する決す

不潔ういふは、カリフォルニアに世界第一の金産地あり。若し、
 の貨ありて間暇ある人、往て一覽するも可う。此の飛脚船の委曲と
 調べるに欲するは、海岸通四番「フィニー」にて訪来す。

中國

飛脚船社



佛蘭西の大船 船 五月六日七日頃本國より「己
チフト」印度支那を経て横濱に来着る此
船横濱より三日後泊の後十日より頃支那印
度歐羅巴へ趣く旅客或は書翰荷物等々
載り出帆する若し書状金銀荷物等を送
るに欲し又自ら航海せんとする者余々宅と
来るなり

十五

マシゴリ
工ニ
ヘリ
アル
社申出張

橫濱海岸十番

ス
ワ

外國へ横濱、横浜、青森此度の日増繁富の跡より日本人アメリカ并ニエウ
ロパニ野菜物工作りし所多き利あり又土地氣候に合致野菜物
不案内なり移居して出づる果樹を有するものなり且其種は本國より
取寄せ度うなり事難く既に治められしなり。

橫濱

白一畚

一ツ一

パンヒスケット
ボットル
茶巾
新居
アサギ
多クハ
奇人
泉
糸

橫濱

元町一丁目

中川全嘉兵衛

私店、刀、蒸氣船、槓、器械、蒸氣車、消製造、大小砲、銃、條銃、短銃、六發銃、火藥、彈丸、耕作道具、書物、衣被、其外總ての商賣物、是外國產物、何の事、其國許より取寄る、若し之を召し買求む、技術、祈り、且日本產物、も世界中何國より運送、後一賣捌き、之に同是、又之用、所、何、所、也、
以上

アメリカニューヨルク並ニサンフランシスコ出店

橫濱

四番

番頭

ウイリウムホブズ

大小長短種々「エニフィールライフル」花と薬管等には此の品を求められ

横濱

三番

ワイルキン
ローベリソン

本店外國商賣品物多し其の品は安し拍賣は官に先きあり

横濱

二十二番

ボイルン

学校書 英文法書 地理書 算術書 點竄書 測量書 辞書 航海書 別本
日本支那朝鮮並細亞魯西亞並海峽島風候略等 在舟行の指南と記載せ
る右何れも新刊書物に多し其の用しる者も其の買求は多し

横濱

五十一番

ハルトリー

私より以前和英海軍外科醫より授けられたる横濱の海軍外科
科にも同業に此の度各國一般の病院と建てる各國貴賤を問はず別
療治有る病は此の病院地場より作られ其の病人の苦痛を減らす
為に又療治科と外科等よりなる月要細書なる書は此の病院
より百五十番迄の品を求め

横濱

ヨシグ
マール

獸類の骨塵及び雜りたる樹木穀物小玉粒等發肥する生
物の水イミヤ試みに少く投じても

横濱

百六十九番

ジラート

和英對話通辯書 此書ハ英國の士官老連先生の著しと所して方
今日用の會話に速く通達し其の便利するにと尚ぶ故専ら簡易なる
通俗語を用ゆ且會話の次第を列し毎月小冊一巻宛出版し和英の對
話通達んと欲する諸子是と報告する若し永くと欲せば百六十八番
列する

一 黒羅紗上着

十四ドルと二十四ドル迄

一 月袖無しの

四ドル

一 月股引

七ドルと八ドル迄

一 白短く上着

二ドルと二ドル半

一 白麻股引

三ドル

一 白袖無しの

金縁の女もの好次第

右の品は海山の品に且諸品恰好は之は同様の文を願ふ
横濱本町通 九十三番

ラダージ

海關の休日ハ吾國人尽く守るがうと得る祝日のことハ從來吾士官の心

年天通九國屋二月十二日西曆月七十五番英商「ボルナルド」と廣本白砂
糖五百斤一付十二ドル宛と約束し先手付金五百ドルを拂ふなり期日
より一月餘待とも未だ引取り又價と減るるも引取り如
此の時日本商人相場の損ハ皆西洋商人の損なり

横濱 七十五番



アラビヤ馬の「フレデリック」と申「カピテンアップレシ」の乗馬は
在り大坂より市大名表には船望お成り馬は此れ城を賣
拂なり買入る程奉預ん

横濱五番

スメツス

英國の一醫師十ヶ年の間萬國を遍歴し内科外科小於
て大に發明せる事あり今般其證書と題する人爲小持参
せり日本の一諸侯之と召抱へおし大に悦ぶ也謹言若
其委細と問ふと欲せむ百一番へ来る也

神奈川奉行各國コンシユルと協議の上海關の取扱并當港に於て他の事
業に更らに簡便ふとする爲の規則

第一

第十月一日より第三月三十一日と八月十時より第四時と第四月より九月三
十日と八月九時より第四時と海關を關するなり
若余儀うき事ありて第四時後荷物と陸揚せん其事を午後第三時
半より運上所に告示するなり其時より臨み荷物と改め通るなり
第四時後相當する間海關を關するに置るなり

第二

輸出入積返り船移を初め出入港手数料願書免状その他の各書都る印刷する定
紙を用ゆるなり

第三

海關を經て荷物と引取り付三日の猶豫を許さるなり此期限より其時其荷
物と「エシテポット」小納め右に付する都るの費用ハ荷主或は引請人より出さるなり

第四

海關の休日ハ吾國人悉く守るなり其日を祝日とするなり從來吾士官の如く

守り一日あけ

右祝日の目録と年毎の始、海関小掲張―且、其旨を右コミニユル贈るべ―

附日曜日西洋才一月一日又モ「リ」ストマステ―と運上所にて休日と爲る―

第五

荷物を運送する人と載る人、或論議を爲すに及ぶ人、小船、貨船の業と許さる―
水夫等の等閑より陸揚船積の荷物より損傷起る時、右損傷と右水夫等と
て償ふ―いづれ―然れども右と償ふ方より時、其水夫と吟味―相當の罰金―
荷揚荷積の用、船と温濡を防ぐため、タールボ―リ―に或ハ他乃適宜の覆
蓋と可成大々用ゐる―人―と載る舟の定價ハ既ニ設けり

第六

人足を雇ふ事―なるが既ニ官許を得る人足頭の數ハ限る―其托を受くるハ強壯
の人足小と備へ又荷物と雜小運送―渡り―と請負ふべ―然れども是より
人足頭のも、或賃より雇ひ得る

第七

太田所、既ニ廢―り―バ小使を取る―口錢ハ拂ふ―及ぶ―
各國人小抱り―小乗―何國のもの―請人誰より―此趣町會所、届き置る

命―

西洋一千八百六十一年第六月

慶應三年五月十三日

神奈川奉行

布告

ス―子ルワンドル―熱海、往返する趣新聞紙ありと雖、右日本政府
にて免許する事―若許を受す―赴くるハ條約と背く罪ある―

慶應三年五月

横濱役所

布告

横濱本町五丁目、住める佐野屋直助より、の各人取結び―約定多―
不相果速弱屢々起り、大々為、各國人も迷惑―趣―訴詔、及ぶ
事―度―有、我輩深く患ふ所より、畢竟同人身許薄く、勿論、
角見据より、約定―故―名―事―も至り、依り各人直助と
約定ハ危―と思ひ代價、引替取引、外、容易、約定、事、
於横濱役所

訴詔掛士官

往年英吉利政府は諸物製造殊に金屬礦術農業貿易等ノ習慣
は壯年の英人あり適當ニ其弊を以て日本の諸候に仕へん事と
要に讀書教授も施すと謂ふ一是成功ありあるなる数多此支業徴
據とも告げん若し委曲を聞んとせば百番にて指示する

十七年前にイギリスのスコットランドのドムハルトンとて交易製造はた
蒸氣船のラター長サ十六丈七尺幅度五尺二寸荷物入と揚高サ一丈二尺
積高サ二百五十六トン^{トンの六五斗}の六五斗^{の六五斗}は右船常拂ふるは買入と此年下迄
積高サも来六月廿四日迄は五艘は下成れ

横濱三十五番

コープ

仙藥熱病丸

一箱十粒入 價壹分

熱病ノ預防並に療治に用はヨウロッパの大妙藥諸人は是れともは能く成
ふは是れは此に戸横濱を所し諸君取次賣捌所を引請は成り及
れり多分利ありは割金買入成り指上り申し委細は功能書に箱に
お記しあり

横濱元町一丁目

卸所 中川屋嘉兵衛

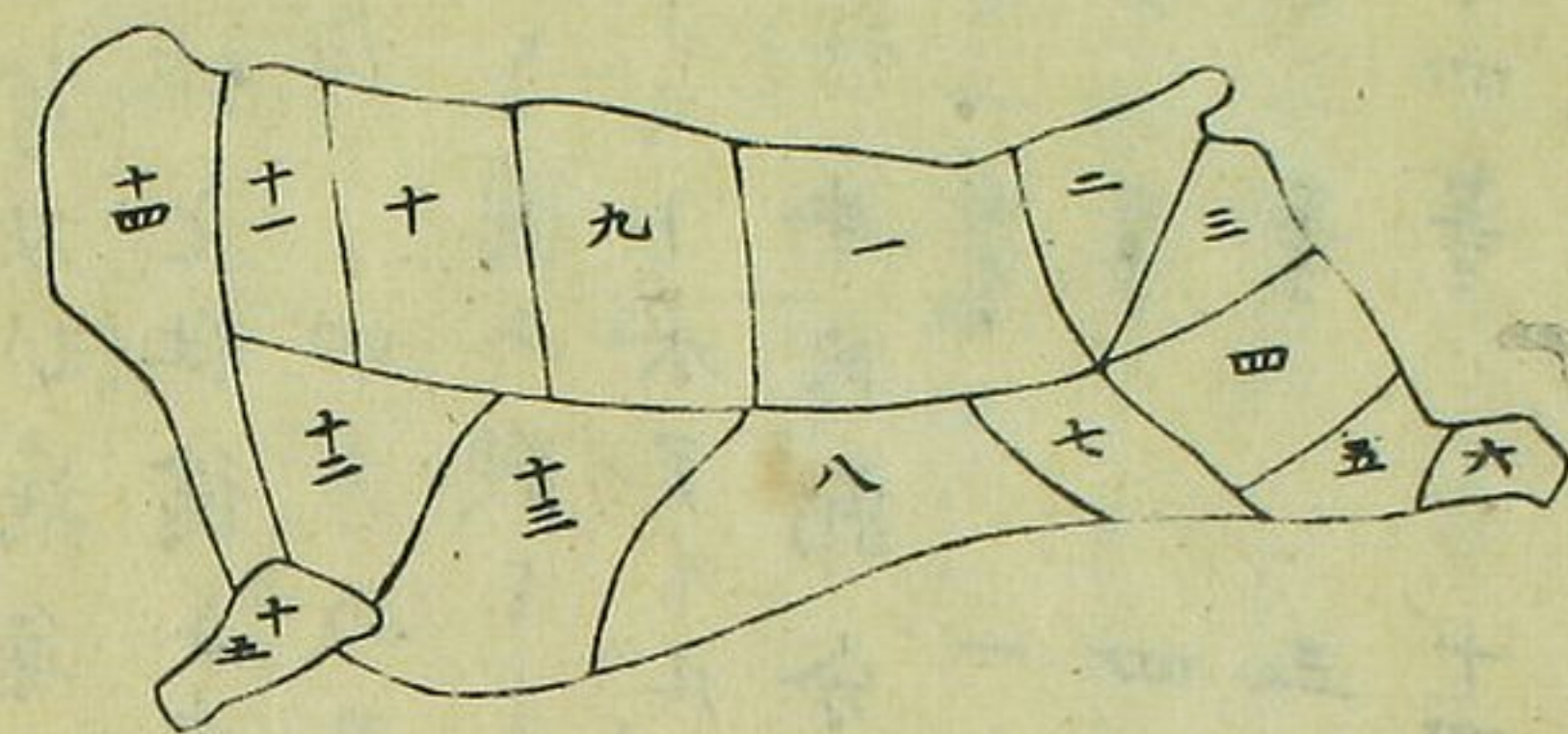
中川屋某

此人今般江戸高輪英吉利館波戸場側小役店を開き肉類を
賣せり就中牛肉ハ健康体小宜しきのいふ別々
虚弱及び病身の人又ハ病後ハ之を食するハ氣力を増し
身体と壯健ふす且又肉の素性を撰り成る丈け下直小賣拂
ふは四方の君子多分小買ひ求むと望む又牛肉の全
体を圖小顯し其解を添へて其名所を知り是何きの部を
ロースト、ポアイル、ステイウ小用ゆは詳し説き明かせり

牛肉部分の善惡小由て五等小分つ

- 第一等 一二九
- 第二等 四七十
- 第三等 三五八十二十三
- 第四等 十四
- 第五等 六十五

牛肉部分の圖及び解



- | | | |
|----|---------|--------------------------|
| 一 | 腰の部 | ロースト |
| 二 | 尾先の部 | ステーキ |
| 三 | 尾下の部 | ボアイル |
| 四 | 尻 | ボアイル |
| 五 | 尻下の部 | ボアイル。ステイウ |
| 六 | 膝の部 | ステイウ |
| 七 | 厚き股腹 | ボアイル |
| 八 | 薄き股腹 | ボアイル |
| 九 | 前の肋骨五枚 | ロースト |
| 十 | 中の肋骨四枚 | ロースト |
| 十一 | 肩側の肋骨二枚 | ステーキ |
| 十二 | 肩下の部 | |
| 十三 | 胸 | 塩漬ふくボアイルふす屋 |
| 十四 | 項頸 | スープ。ダレグ。ストック。パイ。サウセン。小用巾 |
| 十五 | 脛骨 | ステイウ |

高輪英吉利館波戸場側

中川屋書店

110/19

英国教師ブー先生日本貴公了の英学
 小志あり者小教授せんと欲む先生子弟此
 教育熱慣り先生英国カデリジ^シの
 大学校にて修業一此の大学校にて学藝
 上達の為小多くは俵衣賞と得たり故十分
 の教授と与り支と得たり若し已むこ
 とと得たりて英国小延くと欲む亦
 為し周旋する一教授料も多分小受け
 又西洋書籍と持せざる者小別料
 と受りて借し教也なり

横濱

百一番

發 行 書 肆

横濱本町通五十一番

ハルトリ

箱館

一ノス

同太田町三丁目

大黒屋茂兵衛

江都日本橋四丁目

泉屋半助

同野形町

伊勢屋勝郎

上州桐生五丁目

吉田安兵衛

同赤大通五丁目

師岡屋伊兵衛

横濱弁天通五丁目

伊勢屋忠兵衛

同太田町二丁目

升屋常吉

江和泉橋藤堂辰前

大倉屋喜八郎

江都芝神明前

岡田屋嘉七